新

4/1 から、健康管理センター１階に
こども家庭センター「ふくっこ」がオープンします！

妊娠から出産、子育てまで、子どもに関して気軽に相談できるワンストップ窓口として、4/1 から、健康管理センターの１階に「こども家庭センター」を開設します。

こども家庭センター窓口での相談（イメージ）

❶ 子どもに関する相談窓口を一元化

これまで、主に健康管理センターが行っていた妊産婦や乳幼児への支援と、主に子ども福祉課が行っていた児童虐待への対応などを「こども家庭センター」に一元化。全ての妊産婦、子育て世帯、子どもたちへの相談支援を一体的に行います。必要な情報の取得や相談が一か所で提供できるようになるほか、育児ストレスや児童虐待、ヤングケアラー*などの早期発見、支援などにつなげます。

* 本来大人が担うとされる家事や家族の世話、介護などを日常的に行っている子ども

これまでは…

相談 → 健康管理センター など
妊娠、出産、子育てなどに関する相談・支援

相談 → 市役所（子ども福祉課）など
児童虐待、ヤングケアラーなどさまざまな困難を抱える子どもや家庭に関する相談・支援

統合・一元化 → **4/1 ～**

こども家庭センター（健康管理センター１階）

すぐにサポートにつなげられる！

相談

相談窓口の一元化
早期支援による虐待予防

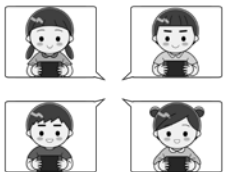
❷ 専門家が常駐、切れ目のない支援を！

窓口には、妊産婦への相談支援を行う保健師をはじめ、妊産婦や子どもへの精神的ケアを担う心理士、児童虐待のリスクを早期に発見、支援するための社会福祉士などが常駐します。
また、特に支援が必要な子どもや妊産婦に対しては、解決すべき課題や支援内容などを記載した「サポートプラン」を個別に作成します。それをもとに、一人一人の実情に応じた最適な支援を判断、実施していくことで、切れ目のない支援を目指します。

気軽に相談してください！

❸ ネット上の「新しい居場所」で交流！

子どもたちが悩みを気軽に話せる新しい居場所づくりなど、若者支援にも力を入れていきます。
インターネット上の仮想空間に、ヤングケアラーなどの悩みを抱える子どもたち同士が、気軽に交流、相談し合える「新しい居場所」を作ります。住んでいる地域などに関係なく、音声や文字のみでコミュニケーションがとれるため、より気軽に関わり合える場として機能することが期待できます。



問合せ　こども家庭センター準備室
TEL 20-5337
FAX 20-5735